

事務事業及び予算の執行実績

(令和5年度分「一部、令和6年度分を含む」)

静岡県立袋井商業高等学校

目次

1	事務事業の概要 (□□□□□□)	1
2	事務執行の根拠法令調 (□□□□□□)	17
3	学校施設の概要 (□□□□□□)	18
4	在籍生徒調 (□□□□□□)	20
5	入学志願者及び入学者数調 (□□□□□□)	21
6	卒業生の動向調 (□□□□□□)	22
7	生徒の状況 (□□□□□□)	24
8	授業料収納状況調 (□□□□□□)	25
9	県収入証紙により徴収した使用料及び手数料調 (□□□□□□)	29
10	預金調 (□□□□□□)	30
11	委託料等歳出予算執行状況節別集計表 (年度分) (□□□□□□)	31
12	委託料等歳出予算執行状況節別集計表 (□□□□□□)	32
13	委託料に関する調 (□□□□□□)	33
14	負担金支出調 (□□□□□□)	37
15	建築工事調 (□□□□□□)	39
16	公有財産調 (□□□□□□)	43
17	借地借家等調 (□□□□□□)	45
18	事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調 (□□□□□□)	45
19	行政財産貸付・使用許可調 (□□□□□□)	46
20	職員公舎管理状況調 (□□□□□□)	47
21	主要備品調 (□□□□□□)	48
別冊		
22	職員調 (□□□□□□)	49
23	職員の年齢調 (□□□□□□)	51
24	健康管理 (□□□□□□)	52

事 務 事 業 の 概 要

1 概 況

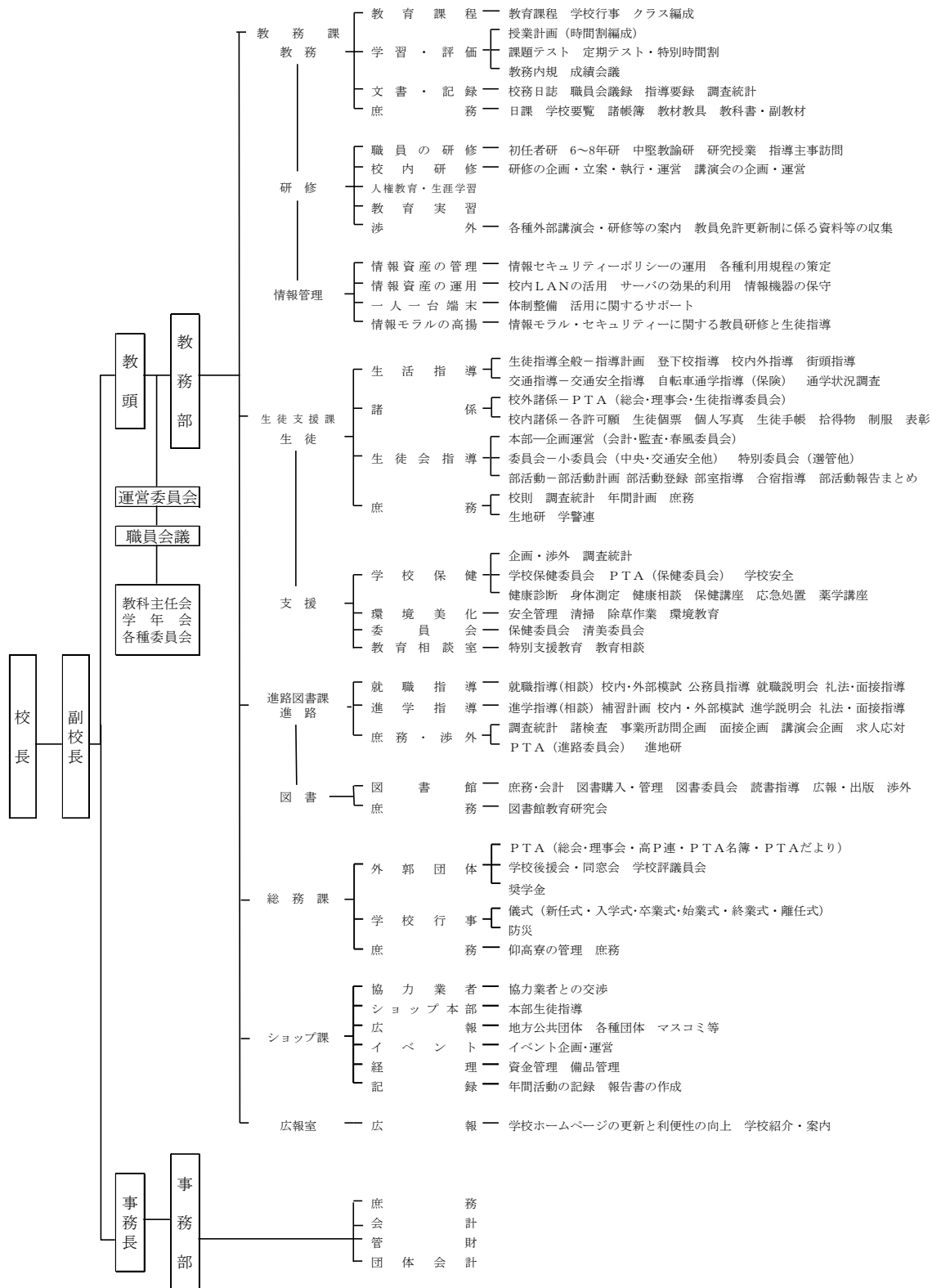
(1) 学校の沿革

大正	12. 2. 26	袋井町笠西村学校組合による甲種商業学校として設立許可、静岡県袋井商業学校と称する。（定員500名）
	12. 4. 1	笠西尋常小学校の一部を仮校舎とする。
	13. 3. 31	笠西村高尾大門に校舎を建築し、仮校舎より移転
昭和	4. 4. 1	県立に移管され、静岡県立袋井商業学校と校名を改称
	19. 4. 1	教育に関する戦時非常措置令により静岡県立袋井工業学校に転換し建築科、土木科を設置
	21. 4. 1	静岡県立袋井商業学校を設置
	23. 4. 1	学制改革により新制高等学校となり、静岡県立袋井実業高等学校と校名を改称（募集定員商業科100名）
	23. 9. 1	定時制の課程を設置（募集定員40名）
	24. 9. 1	静岡県立袋井高等学校と校名を改称
	25. 4. 1	普通科を設置（募集定員100名）、工業科募集停止
	26. 4. 1	生徒定員750名となる。
	33. 4. 1	生徒定員900名となる。
	34. 4. 1	静岡県立袋井商業高等学校と校名を改称（定員1,050名）
	35. 3. 31	袋井市久能に新校地11,138坪を買収
	36. 3. 26	新校地整地第一期工事（校舎敷地、運動場造成）竣工
	36. 12. 31	新校地整地第二期工事（校舎敷地及び運動場拡張）竣工
	37. 12. 31	建築第一期工事（特別教室棟）竣工
	38. 4. 1	新校舎に全面移転。生徒急増対策により生徒定員1,200名となる。
	38. 6. 4	建築第二期工事（管理棟・普通教室）竣工
	38. 7. 1	第二体育館竣工。合宿所竣工（後援会より寄付受納）、バックネット竣工
	38. 10. 12	新校舎全面移転落成式を挙行政
	41. 1. 15	体育館兼講堂竣工（延1,551.46㎡）
	41. 4. 1	定時制の課程募集停止（定員120名となる。）
	41. 4. 15	プール及び体育館付属棟竣工（コンクリート補強ブロック建188.56㎡）
	41. 7. 10	プール及び循環浄化装置竣工
	41. 10. 14	体育館兼講堂並びにプール落成記念式を挙行政
	43. 10. 18	食堂兼集会室竣工（217.80㎡）
	44. 3. 31	定時制の課程廃止
	47. 1. 15	合宿所仰高寮落成（439.74㎡）
	47. 4. 1	経理科、事務管理科、経営科が発足
	47. 10. 8	創立50周年記念式典を挙行政 正門脇和風庭園完成
	49. 12. 28	北校舎北側自転車置き場（65㎡）完成
	50. 9. 30	卓球室（275.95㎡）竣工
	53. 4. 1	生徒定員1,080名となる。
	53. 9. 29	特別教室棟（西校舎）（384.87㎡）竣工
	53. 12. 10	西校舎渡り廊下北自転車置き場（118.4㎡）竣工
	54. 3. 30	柔剣道場（567㎡）竣工 グランド造成工事竣工
	54. 7. 31	運動部部室（119.72㎡）竣工
	58. 1. 28	南校舎（管理棟）改築工事竣工
	58. 6. 11	創立60周年校舎改築記念式典を挙行政

昭和	62. 3. 27	東校舎（162㎡）竣工
	62. 4. 1	生徒急増対策により生徒定員 3 年間 1 学級増となる。
	63. 2. 15	特別教室棟耐震補強工事竣工
平成	2. 4. 1	生徒定員1, 170名となる。
	3. 3. 31	平 3 総体にともないグラウンド改修整備
	3. 4. 1	学科改編により従来の事務管理科、経営科を発展解消し、情報処理科、流通経済科を新設 生徒定員1, 125名となる。
	4. 4. 1	生徒定員1, 080名となる。
	4. 9. 30	夜間照明設備完成（6 基）
	5. 4. 1	生徒定員1, 064名となる。
	5. 11. 6	創立70周年記念式典を挙行
	6. 4. 1	生徒定員1, 040名となる。
	7. 4. 1	生徒定員1, 008名となる。
	8. 4. 1	生徒定員984名となる。
	9. 4. 1	生徒定員968名となる。
	10. 4. 1	生徒定員960名となる。
	13. 4. 1	生徒定員920名となる。
	14. 4. 1	生徒定員880名となる。
	15. 4. 1	生徒定員840名となる。
	15. 11. 28	創立80周年記念式典を挙行
	16. 4. 1	生徒定員800名となる。
	17. 4. 1	生徒定員760名となる。
	18. 1. 31	体育館耐震補強工事竣工
	18. 3. 31	グラウンド改修工事竣工
	18. 4. 1	生徒定員720名となる。
	19. 3. 16	プール改修工事竣工
	20. 4. 1	生徒定員680名となる。
	21. 4. 1	生徒定員640名となる。
	22. 4. 1	学科改編により従来の経理科、情報処理科、流通経済科を発展解消し、商業科を新設。生徒定員600名となる。
	23. 3. 23	雨水貯留浸透施設設置工事竣工
	23. 12. 12	武道場及び西館耐震補強建築工事竣工 自転車置場（25. 2㎡× 3 棟新築）
	24. 3. 29	部室他建築工事竣工 部室（132. 94㎡改築）卓球場（184. 37㎡改築）更衣室（37. 46㎡× 2 棟改築）
	25. 11. 15	創立90周年記念式典を挙行
	26. 9. 6	特別教室棟ほか 1 棟外壁改修工事竣工
	27. 3. 20	プールサイドほか改修工事竣工
	28. 11. 17	仰高寮外壁改修工事竣工
	29. 2. 14	防球ネット設置工事竣工
	30. 4. 1	生徒定員560名となる。
	30. 11. 16	西校舎ほか屋上防水修繕工事竣工
	31. 4. 1	生徒定員520名となる。
令和	2. 2. 21	本館屋上防水改修工事竣工
	2. 4. 1	生徒定員480名となる。
	3. 7. 1	普通教室空調設備賃貸借契約開始（賃貸借期間令和16年 6 月30日まで）
	4. 12. 1	管理普通教室棟トイレ洋式化改修工事竣工
	4. 12. 2	体育館照明 LED 化改修工事竣工

令和	5.11.10	創立100周年記念式典を挙
	5.11.16	テニスコートフェンス改修工事竣工
	6.4.1	生徒定員440名となる。
	7.4.1	生徒定員400名となる。

(2) 組織図



運営委員会

入学者選抜検討委員会
コンプライアンス委員会
教育情報セキュリティ委員会
調査書作成委員会
ショッピング検討委員会
行事検討委員会

学 校 保 健 委 員 会
いじめ防止対策委員会
教育課程検討委員会
キャリア教育推進委員会
特別支援教育に関する委員会
学校職員安全衛生委員会

部活動検討委員会
表彰委員会
危機管理委員会
指導原案作成委員会
学校PR・HP企画委員会

2 目指す学校像

地域社会・地域経済の有為な形成者・継承者となるよう、心身ともに健全でたくましく、「知・徳・体」のバランスが取れた人材を育成する。

3 監査対象期間の年度別学校経営の取組等

(1) 令和5年度の取組目標への方法、評価及び成果と課題

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ア	商業の学びと実践との融合、「学びのサイクル」の推進	・授業で学んだことが袋商ショップで役に立ったと感じる生徒 85%以上 ・袋商ショップを経験することにより学びたい気持ちが高まった生徒 70%以上	・「授業で学んだことが袋商ショップで役に立った」 79.8% ・「袋商ショップを経験することにより学びたい気持ちが高まった」 70.4%	B	・普段の授業を通じて、挨拶や礼儀を指導していく必要がある。店舗経営において、簿記やマーケティングの授業で得た知識を活用した。 ・取り扱う商品の適正な仕入数量を把握したり、販売方法を工夫したりする等、生徒が主体的に学べるような指導を行う。
	袋商ショップの充実	キャッシュレス決済等の会計方法改善とショップ業務のスリム化	・キャッシュレス端末が契約でき、試験的に1台導入した。広報活動では、全校生徒で行っていたチラシ配りをやめ、袋井市のメール配信を利用した。放課後に実施していた講習会を水曜7限に行うなど改善した。	A	・キャッシュレス決済の店舗内総売上金額に対する割合は25.6%であった。今後は事前の告知と端末使用料負担が課題である。 ・袋井市のメール配信を利用したが、来場客数に大きな変化はなく、一定の効果が出ている。 ・チラシのポスティングをやめ、放課後に実施していた講習会等を7限に実施することで、関係職員・生徒の大幅な業務削減ができた。
	商業検定合格者・資格取得者の増加（中上位層の学力伸長）	・1年生の簿記、情報処理、電卓検定合格率全て90%以上 ・卒業までに1級を取得する生徒50%以上	・1年生の資格取得状況は、全商情報処理3級96.8%、全商ビジネス計算（電卓）2級50.7%、全商簿記90.7%（1月末） ・3年生1級取得生徒34%（1月末）	B	・情報処理検定3級、簿記検定3級合格者は目標を達成したが、電卓検定では2級を受検したため目標を達成することができなかった。 ・3年生の検定1級取得者は34%と目標を達成することができなかった。1年時から更に丁寧に検定指導を行う。
イ	生徒の能力を引き出す授業の実践	・板書や教材等、授業のUD化を実践する教員90%以上 ・教育活動でクロムブックを活用している教員75%以上。 ・対話型・探究型活動を取り入れた授業を行っている教員75%以上	・「板書、プリント等、授業のUD化を実践した」80.0% ・「教育活動でクロムブック等ICT機器を活用した」82.9% ・「対話型・探究型活動を取り入れた授業を行った」82.9%	B	・「板書、プリント等、授業のUD化を実践」が昨年度76.7%から80.0%に上昇した。 ・新学習指導要領の運用に基づいたクロムブックやICT機器の活用、対話型・探究型の授業が定着してきている。 ・「袋商で受けている授業に満足している」生徒が昨年度80.2%から76.1%と減少していることは看過できない。授業アンケート等を通して授業の難易度をはじめ、生徒の求

		・授業に満足している生徒 80%以上	・「授業に満足している。」76.1%		める授業を分析し、授業改善を行う。
	基礎学力の定着	・年間を通して基礎力診断結果に向上が見られる	・GTZのD3の生徒 1年5人(9人) 2年9人(23人) 3年15人(3人) ()は解消人数	A	・学期始めに学習時間を確保したり、検査結果分析と授業改善を行っている成果が出ている。また、各学年のD3生徒の補習や課題の結果、多くの生徒がD3を解消した。 ・朝学習や診断前の放課後補習を行い、家庭学習課題の成果が反映された。また、事前に担任が学習の意味や目標の設定を伝えたことにより、学習意識が高まった。学習習慣の定着まではできていない生徒がいるため、継続した働きかけや取組が必要であり、中学段階の学習範囲が身に付いていない生徒への対応や進路実現に向けた意識の継続が課題である。
	観点別評価の実践と評価	・評価規準に即した観点別評価を実施した教員 100% ・評価方法・指導方法について検討した教員 100%	・「評価規準に即した観点別評価を実施した」97.1% ・「評価方法・指導方法について検討した」100%	A	・今年度から成績処理日を設け、集中的に成績処理を行った結果、評価ミスは皆無であった。 ・評価規準に沿った評価及びより良い評価規準や評価材料の検討が進んでいる。
	読書活動の推進	・年間で4冊以上の読書をした生徒 75%以上	・年間4冊以上読書をした生徒 27.5%、見込みがある生徒 53.1%、計 80.6% (1月末)	B	・朝読書の時間を確保する必要がある。読書はすべての教科の基礎や感性を育てる元となるものなので、読書を勧める指導や環境づくりを継続していく。
ウ	基本的な生活習慣の確立	・欠席年間6回以上の生徒 10%以下 ・朝食摂取率 90%以上	・欠席年間6回以上の生徒 12% (46人) 1年6% (8人) 2年19% (27人) 3年9% (11人) ・朝食摂取率 94.8% 1年94.6% 2年93.3% 3年96.4%	B	・コロナが5類移行した影響もあり、欠席年間6回以上の生徒が12%で目標に若干届かなかった。 - 長欠傾向にある生徒の状況把握を行い、学年、教務課、保健課、管理職で連携して、適切で迅速な対応を行うことができた。 ・朝食摂取率は目標達成できた。基本的生活習慣の確立を引き続き呼びかけて行く。
	ビジネスマナー(BM)指導の徹底と改善	・規範意識・ビジネスマナーの育成を意識した指導を行っている教員 100% ・校則、指導基準の見直しを昨年度に引き続き実施	・「規範意識・ビジネスマナーの育成を意識した指導を行った」97.1% ・年度内に校則をホームページに掲載。男子頭髪、女子眉毛の指導基準の見直しを行った。	B	・多くの生徒が袋商ショップや進路決定を意識して的確な行動がとれた。校内外で自覚とプライドを持った生活が概ねできている。 ・中学校で校則の見直しが進む一方で、本校の校則、指導基準を厳しいと感じる生徒・保護者(アンケート結果)が増加傾向にあるため、次年度以降も継続して校則や指導基準の見直しを行う。

	創造力と協働力の育成	・シヅクリ PROJECT に参加した生徒の満足度 80%以上 ・探究（提案）型プログラムへの生徒派遣・参加奨励	・生徒の満足度参加生徒：3年13人、85% ・ビジネスリーダー育成セミナー2年2人参加 ・静岡文化芸術大学にて2年140人 ・「市議と話そう：25人」など	A	・シヅクリ PROJECT では、生徒が中心となり地域活性化を目的として活動を行った。 ・ビジネスリーダー育成セミナーは生徒2人が参加し、年6回の活動に真面目に取り組んだ。大学授業体験では、2年生が2グループに分かれて静岡文化芸術大学で「ユニバーサルデザイン」「地域研究」の講義を受け、新たな発見と商業の学びを深める機会となった。
エ	希望する進路の実現	・2年終了時まで進路希望「未定」0人 ・進路指導が適切にされていると考える生徒80%以上	・2年終了時進路希望「未定者」0人 ・「進路指導（面談、補習、情報提供）」が適切に行われている」83.6%	A	・生徒の進路希望に応じて適切な個別指導を行うことができた。更に進路課と学年部との連携や情報共有を充実させていく。 ・「Handy 進路指導室」の導入など、教員の進路指導力を高める研修や指導体制を充実させる。
	多様な生徒の支援及び特別支援教育の充実	・3分間カウンセリング実施率95%以上 ・SC相談件数年間20件以上 ・ケース会議の積極的な開催	・「3分間カウンセリング実施率」99% ・SC相談件数年間19件（1月末） ・ケース会議回数年間7回（1月末）	A	・相談できる体制、悩みを打ち明けやすい環境を構築できた。 ・SC相談（月2回）が全校に浸透し、生徒・保護者が気軽に相談できており、多様な相談・悩みの解決に大変役立っている。 ・初期対応としてケース会議を開催することができた。
オ	地域連携・貢献・協働の強化	・1部活動1ボランティアの実践100% ・地域防災訓練に参加した生徒90%以上	・「1部活動1ボランティアの実践」100% ・「地域防災訓練に参加した生徒」14.6%（津波警報の影響で中止の地区多）	A	・1部活動1ボランティア開始3年目となり、計画から実施の流れが軌道に乗ってきた。各部活動で地域貢献を意識した活動を工夫して実施している。広報・PRに繋げることが今後の課題である。 ・各地区で防災訓練の中止が多かったが、自然災害等について考える機会を工夫していく。
	地域に根ざし開かれた学校づくり	・学校HP、SNSによる情報発信 ・広報ポスターに加えて+チラシ作成年間6回以上 ・専門高校合同説明会開催 ・学校行事等の運営に参加した保護者のべ50人以上	・HPの毎日更新を継続中249（1月末）、学校公式Instagramフォロワー900人（1月末） ・「学校HP、SNS等による情報発信を行った」62.9% ・ポスターチラシを9種作成し、配布地区拡大した。 ・10月に専門高校等（5校）による合同説明会を開催した。 ・学校行事等の運	B	・InstagramとHPとの使い分けを模索している。どちらも学校に親しみを持ち、よりよく知ってもらう手段として、多くの職員が発信者となり継続する。 ・ポスターに生徒の姿や活動を掲載することで、生き生きとした学校生活の様子や学校の特色を伝えることができた。 ・昨年に引き続き専門高校等合同説明会を開催し、中学生・保護者に向け、学校の特色や魅力を発信する機会となった。 ・マラソン大会のボランティアは昨年より多くの協力を得ることができた。PTA活動として定着を目指す。

			営に参加した保護者のべ41人		
力	部活動と学校行事の一層の活性化	・部活動に積極的に参加している生徒70%以上 ・学校行事に積極的に参加している生徒80%以上	・「部活動に意欲的に取り組んでいる」85.9% ・「学校行事に意欲的に取り組んでいる」95.6%	A	・部活動にやりがいを感じ、意欲的に活動している生徒が多い。一方で部活動に活動意義を持てない生徒や転部先で思うように活動できていない生徒が一定数おり、そのような生徒をどのように指導していくかが課題である。 ・学校行事の参加率が高く、また意欲的に運営に取り組む姿勢が見られた。 ・部活動や学校行事を通じて、心身ともに逞しく成長する様子が見られ、創立100周年行事に携われたことも大きな要因である。今後、行事等で更に生徒が中心となって運営にあたることによって、より主体的な姿勢を育成する。
キ	安全と環境に配慮した教育環境の整備	・推奨される感染症対策の徹底 ・定期的な校内点検と迅速な対応 ・電気・ガス・水道使用量5%削減、ごみ処分量5%削減	・「マスク、換気、密回避などのコロナ対策など安全な教育活動を心掛けた」91.4% ・廊下窓からの転落防止対策、放送機器の修繕、職員室空調整備を実施。 ・「経費やごみの削減を意識して業務を行っている」97.2%（昨年比削減率）電気3%、ガス90%、水道10%、可燃ごみ0.1%、不燃ごみ79%。	A	・感染症対策として、引き続き手指消毒・校舎内消毒を励行した。感染対策や換気の徹底については、今後も継続していく。 ・施設設備の修繕等保留案件は多数あるが環境改善に関する予算措置は厳しい状況にある。緊急性をもとに執行順位を随時確認し安全な環境を目指す。 ・すべての光熱水費で昨年比減となった。職員の私物の持ち帰りの取組やごみを減らす意識が醸成された。節約・削減を習慣化できるよう呼びかけを継続する。
	人権教育の一層の推進	・各学期のいじめアンケートでいじめの可能性がある回答への聞き取り実施100% ・いじめが疑われる事案を認知後、対応の遅れ0件	・「いじめの可能性がある回答への聞き取り実施」100% ・「対応の遅れ」0件	A	・アンケート記述から1学期に1件、2学期に4件のすべて聞き取りを実施した。5件のうち、対応済2件、対応中3件（1/11現在）である。 ・アンケートを、年1回から年3回に増やしたことにより、いじめの早期発見・早期対応が可能となった。
	働き方改革に対する組織的取組	・外部人材活用により教員に負担軽減の実感がある ・やめる・へらす・かえるを活用した業務改善5	・「外部人材（部活動、交通、進路等）の活用により教職員の負担軽減効果があった」54.2% ・業務改善件数	A	・県事業で部活動指導員3人、スポーツエキスパート1人、文化の匠1人、学習支援員4人を活用した。今後も外部人材を積極的に活用する。 ・各分掌や学年において精選、効率化に努める意識が高くなっている。来年度は学級減・職員減に伴い、学

		件以上 ・職員安全衛生委員会やストレスチェック事業を活用した職場環境等の改善	9 件 「既存の業務や行事を見直し、業務の精選、効率化を図った」77.1% ・職員安全衛生委員会を月 1 回開催した。		校行事や分掌業務・部活動、教育課程の見直しを行う。 ・落ち着いて成績処理が行えるように「成績処理日」を設けた。来年度からは採点業務の軽減のためブラウザ型採点システム「百問繚乱」を導入する。 ・働きやすい職場環境を構築するため働き方改革とストレス対策等に継続して取り組む。
ク	創立 100 周年 記念事業の実行	・式典、講演会の開催 ・記念事業の実施 ・記念誌の発行 ・記念事業全体の記録整理	・11 月 10 日記念式典、記念講演 ・机椅子、緞帳・スクリーンの購入 ・記念誌の発行 ・トートバック、クリアファイル、お茶、菓子 ・バナー（スローガン・ロゴ）、ポスター、新聞広告 ・写真、記録 ・会計報告	A	・同窓会・後援会・PTA と連携し、バナーやポスターの作成、記念誌の編集、記念事業や記念品など計画的に行うことができた。 ・式典、講演会の運営も職員・生徒が役割を果たし、素晴らしい式典であった。 ・記録整理、会計報告も滞りなく終えることができた。

(2) 令和6年度の取組目標・達成方法・成果目標

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	商業の学びと実践との融合、「学びのサイクル」の推進	・商業科目の授業での学んだことを袋商ショップで実践する。 ・袋商ショップでの実践を経ることによって生徒の商業に対する興味関心を高める。	・授業で学んだことが袋商ショップで役に立ったと感じる生徒 85%以上 ・袋商ショップを経験することにより学びたい気持ちが高まった生徒 75%以上	商業科
	袋商ショップの充実	学級減と時流に適応した袋商ショップへの改善	・R7 袋商ショップの開催形態、会場、日の検討と決定 ・キャッシュレス決済の本格導入	ショップ課 商業科
	接客技術、ビジネスマナー教育の充実	1年生に「おもてなしの心研修」を導入する。 2年生には修学旅行に同内容の研修を含める	・接客技術やビジネスマナーの習得に役立ったと感じる生徒 90%以上 ・進路意識の向上につながったと考える生徒 70%以上	商業科 1年部 2年部
	商業検定合格者・資格取得者の増加（中上位層の学力伸長）	・検定受験の推奨 ・授業、課外授業、部活動による検定対策の充実	(1年)簿記検定3級、情報処理検定3級合格率 90%以上 (2年)簿記検定2級合格率 55%以上 (3年)卒業までに検定1級を取得する生徒 30%以上	商業科 商業系部活動
イ	生徒の能力を引き出す授業の実践	・授業のUD化推進 ・探究的な学びに向けた授業改善 ・1人1台端末（BYOD）の活用	・板書や教材等、授業のUD化を実践する教員 90%以上 ・教育活動でクロムブックを活用している教員 90%以上。 ・授業で対話型・探究型活動を取り入れている教員 90%以上 ・授業に満足している生徒 80%以上	教務課 全教員
	基礎学力の定着	・学びの基礎診断に基づく学力の把握と学び直しの実践	・年間を通して基礎力診断結果に向上が見られる	教務課 各学年
	観点別評価の実践と評価	・研修や教科会による評価方法、指導方法の改善と工夫	・評価方法・指導方法について検討した教員 100%	教務課 全教員
	読書活動の推進	・朝の読書の継続 ・図書室の整備、読書の勧め	・年間で4冊以上の読書をした生徒 75%以上	図書広報課
ウ	基本的な生活習慣の確立	・毎月の出欠統計の見える化による欠席数等の削減 ・規則正しい生活習慣の指導	・欠席年間6回以上の生徒 10%以下 ・朝食摂取率 90%以上	教務課 保健課
	ビジネスマナー（BM）指導の徹底と改善	・袋商ショップ社員としての身だしなみ、礼儀、マナー指導 ・校則、指導基準の継続的な見直し	・規範意識・ビジネスマナーの育成を意識した指導を行っている教員 100% ・校則、指導基準の見直しを昨年度に引き続き実施	生徒課 全教員
	創造力と協働力の育成	・課題解決型活動の活性化	・春風プロジェクトを受講した生徒の満足度 80%以上	商業科 生徒課
エ	希望する進路の実現	・学年に応じた進路指導の充実 ・学年と進路課との連携	・卒業時に進路決定している生徒 100% ・進路指導が適切にされていると考える生徒 80%以上	進路課

	多様な生徒の支援及び特別支援教育の充実	・カウンセリング機会の充実 ・ケース会議の積極的活用と外部機関、専門家との連携 ・通級指導の本格実施	・3分間カウンセリング実施率95%以上 ・SC相談利用促進を推進し相談件数年間20件以上 ・ケース会議の積極的な開催 ・通級指導の定期的実施	保健課 生徒課 特支教C0
オ	地域連携・貢献・協働の強化	・部活動等による地域貢献 ・地域防災の担い手としての自覚の育成	・1部活動1ボランティアの実践100% ・地域防災訓練に参加した生徒90%以上	生徒課 総務課
	地域に根ざし開かれた学校づくり	・広報活動の更なる強化 ・保護者・外部人材による教育活動への参加	・HP、SNSによる情報発信 ・広報ポスターに加えてチラシ作成年間5回以上 ・専門高校合同説明会開催 ・学校行事等の運営に参加した保護者のべ40人以上	図書広報課 総務課
カ	部活動と学校行事の一層の活性化	・部活動での目標を持って主体的に活動に取り組む生徒の育成 ・生徒主体で達成感のある行事運営	・部活動に積極的に参加している生徒80%以上 ・学校行事に積極的に参加している生徒80%以上	生徒課 各学年
キ	安全と環境に配慮した教育環境の整備	・不良個所の早期改善、計画的な修繕・改修 ・SDGsの実践	・定期的な校内点検と迅速な対応 ・電気・ガス・水道使用量5%削減、ごみ処分量5%削減	保健課 事務部
	人権教育の一層の推進	・いじめアンケート実施、いじめ早期発見・早期対応体制の点検 ・人権教育の推進	・各学期のいじめアンケートでいじめの可能性のある回答への聞き取り実施100% ・いじめが疑われる事案を認知後、対応の遅れ0件	生徒課 いじめ防止 対策委員会
	働き方改革に対する組織的取組	・部活動指導における外部人材の活用 ・やめる・へらす・かえるの実践 ・職員安全衛生委員会の活性化、ストレスチェック事業を更に活用 ・時間外在校時間の縮減	・外部人材活用により教員に負担軽減の実感がある ・やめる、へらす、かえるを活用した業務改善5件以上 ・職員安全衛生委員会やストレスチェック事業を活用した職場環境等の改善 ・時間外在校時間の5%縮減	全職員
ク	学級減への対応	・部活動、学校行事の精選 ・分掌、委員会の再編 ・教育課程の見直し	・運動部1～2部、文化部1～2部の廃止、統合 ・分掌、委員会の縮減、再編 ・開講科目の検討と設置	教務課 全職員

4 監査対象期間における特色ある取組

年 度	取 組 概 要	成果及び課題
令和5年度	・本校の教育活動の中核である「袋商ショップ」において、リノベーション特別委員会を設置し、改善案を提言した。提言内容を関係職員・生徒が検討・実施した。 ・県教委の高校教育推進事業「プロフェッショナルへの道」を活用し、高度外部人材活用事業、大学等での研究体験、高校生による子どもフォアフロント体験教室を実施し、商業の専門性の深化を図った。 ・多様な生徒の支援として、入学時に「情報交換シート」を活用し中学校との連携を図った。また、通級指導と教育相談の充実を図った。 ・地域に根ざし開かれた学校づくりの一環として、年間ポスターをはじめ、計9種類のポスターを作成し学校紹介に活用した。また、学校ホームページを毎日更新し、日々の出来事を紹介した。 ・創立100周年記念事業として、記念誌の発行・記念品・広報、記念式典・講演を行った。	・キャッシュレス決済の導入、メール配信での広報活動、講習会の見直し等を行い関係職員・生徒の大幅な業務削減につながった。魅力ある袋商ショップの在り方について課題等の改善に取り組む。 ・大学等での研究体験では、静岡文化芸術大学の教授による講義を受け、大学での学びの一端に触れることができた。フォアフロント体験教室では、袋商ショップにおける中学生の販売実習を企画し、実施した。 ・本年度から通級指導を開始し、多様な生徒への対応、相談できる環境が構築できた。教育相談とともに継続していきたい。 ・学校紹介と広報活動の一環として新規のInstagram開設を含み、取組を充実させることができた。広報により中学生や地域の方々からも多くの意見をいただいている。今後も学校の魅力や取組を紹介する機会を大切にしていける。 ・同窓会、講演会、PTAと連携し、計画的に行うことができた。また、記録整理、会計報告を滞りなく終えることができた。
令和6年度	・本校の教育活動の中核である「袋商ショップ」において、袋商ショップ検討委員会を通じ、改善案を提言した。提言内容を関係職員・生徒が検討・実施した。 ・県教委の実学推進フロンティア事業を活用し、高度外部人材活用事業、大学等での研究体験を実施し、商業の専門性の深化を図った。 ・課題解決型探究活動として、3年生の選択科目として「春風プロジェクト」を開設し、外部との連携による探求型授業を開始した。 ・地域に根ざし開かれた学校づくりの一環として、授業、部活動を通じて外部との連携に積極的に取り組んだ。	・キャッシュレス決済、レジアプリの導入、講習会の見直し等を行い関係職員・生徒の大幅な業務削減につながった。3年生の独自企画店舗の出店など新たな取り組みもできた。今後も魅力ある袋商ショップの在り方について課題等の改善に取り組む。 ・大学等での研究体験では、静岡文化芸術大学の教授による講義を受け、大学での学びに触れることができた。高度外部人材活用では検定取得に向けた取り組みとして効果を上げることができた。 ・ジュビロ磐田をはじめとする3社と連携し、新商品やサービスの開発を行った。生徒の満足度は非常に高く、来年度以降もさらに充実した授業を模索していきたい。 ・1部活1ボランティアの実施率100%、地域貢献を意識した取り組みができた。袋井市との連携も充実し、様々な場面で生徒の活躍する姿を多くの方に見て頂くことができた。地域の方に認知され、応援される学校を目指し、さらに情報発信をしていきたい。

5 教職員について

(1) 令和6年度異動状況

補職名 区分	校長	副校長	教頭	教諭	養護教諭	主任実習助手	小計	事務長	主査	主任	小計	非常勤講師	非常勤労務職員	非常勤嘱託員	外国語指導講師	小計	計
転出者				4			4			1	1					0	5
退職者				1	1		2			1	1	1		1		2	5
転入者				2	1		3		1		1					0	4
新任者				2			2				0	1				1	3
差引増減	0	0	0	▲1	0	0	▲1	0	1	▲2	▲1	0	0	▲1	0	▲1	▲3

(2) 現 員 数

(令和7年4月1日現在)

補職名 区分	校長	副校長	教頭	教諭	養護教諭	主任実習助手	小計	事務長	主査	小計	非常勤講師	非常勤労務職員	外国語指導講師	小計	計
男	1	1	1	18			21		1	1	3	2		5	27
女				10	1	1	12	1	1	2	3		1	4	18
計	1	1	1	28	1	1	33	1	2	3	6	2	1	9	45

(3) 健康管理について

ア 健康管理については、生活習慣病検診、指定年齢検診、人間ドック、結核検診、脳ドック、婦人科検診により、疾病等の早期発見、早期治療に努めるとともに、職員に対し健康保持増進に努めるよう促している。

なお、健康診断結果等は別冊「健康管理」（様式第2号－3）のとおりである。

イ 職員安全衛生委員会を活用して、職員の健康維持の啓発に努めている。

ウ 勤務時間管理システムによる時間外勤務の確認をし、時間外勤務の多い職員に対する自己診断チェックを行い、必要に応じ管理職の面談を実施し、健康管理に留意している。

(4) 教職員の研修について

本校の現状を多面的に捉え、全職員共通のテーマを設定して校内研修を実施している。また、校外研修として、県総合教育センターやアクティブラーニング、ICT導入・活用や次期学習指導要領に関わる研修会の参加を依頼し、報告書を全職員で共有している。

ア 令和6年度校内研修

学習指導の効果を高めるICT活用

テーマ設定の理由

1人1台端末が配備され、端末活用の機会が増えたが、様々な教育活動の中で有効に活用するためには教員側の知識や技術の習得や向上が求められる。オンライン授業、デジタル採点等、さらに活用方法を習得し、端末の有効利用について模索していく必要があるため研修のテーマとした。

月 日	主 題	内 容 及 び 成 果
4 月中旬	校内重点目標の作成と確認	校内重点目標を作成。学校経営目標と各業務との連携を確認し、自己目標につなげる。
5 月上旬	公開授業週間 1	2 週間の授業公開週間で 1 人 2 回以上参観する。 見学者は授業参観シートを記入し、授業担当者に渡す。 I C Tを活用した授業をテーマとした。
6 月 10 日	指導主事訪問 研究授業（商業・理科）及び公開授業	解決したい課題や問いの設定を意識した研究授業と協議、及び公開授業の実施。
	校内研修会 1	Google Slideを使用し、本年度の袋商ショップの改革案の確認と袋商ショップに向かう職員の意思の共有を図った。
6 月 20 日	校内研修会 2	オンライン授業の実施に向けて、グループごとに GoogleMeet を使用した授業配信の研修を行った。
7 月～ 8 月	校内研修会 3	デジタル採点アプリの使用方法を研修した。 教科ごとにグループを作り、各グループリーダーがグループ員と使用方法を共有した。
10 月後半	公開授業週間 2	2 週間の授業公開週間で 1 人 2 回以上参観する。 見学者は授業参観シートを記入し、授業担当者に渡す。 I C Tを活用した授業をテーマとした。
2 月 6 日	校内研修会 4	校内重点目標の反省。各分掌より成果と課題を報告。 次年度学校経営計画の実現に向けて共通意識を持つ。 I C T活用の実践報告も行った。
2 月	授業振り返り	1，2 年生の全授業を対象に、授業の取組に関するアンケートを実施し、分析を行い、今後の授業改善につなげる。

イ 令和 6 年度のその他の研修

月 日	主 題	内 容 及 び 成 果
4 月 8 日 ※ 1 年生 は 11 日	人間関係づくり プログラムの実施	年度当初に、袋商ショップに向けてのクラス作り・人間関係づくりの一環として、人間関係づくりプログラムを実施。
8 月 29 日	人間関係づくり プログラムの実施	袋商ショップに向けてのクラスづくり・人間関係づくりの一環として、人間関係づくりプログラムを実施。
1 月 7 日	人間関係づくり プログラムの実施	他者理解を軸に人間関係づくりの一環として人間関係づくりプログラムを実施。

6 防災対策について

(1) 目 標

- ア 訓練を通じて防災への関心を高める。
- イ 整然とした団体行動をとらせ、迅速に人員把握ができる体制を確立する。
- ウ 脱出訓練及び消火訓練を通して、用具などの取扱いを確認する。
- エ P T Aや地元自治会との協力体制を図る。

(2) 令和6年度訓練実施状況

月 日	想 定	訓 練 内 容	参加人数
5月2日(木)	駿河湾を震源とするマグニチュード8の地震が発生し、緊急に避難を要する事態が発生	- 地震発生を想定した避難行動 - 地震発生時における避難上の基礎知識の確認 - 地区別班編成の確認	職員及び全校生徒
7月17日(水)	- 校内において火災が発生 - 災害発生時に伴う救急法	- 垂直式救助袋による脱出訓練 - スモークマシンによる屋内濃煙体験 - 養護教諭による救急法指導	職員及び1年生全員
8月29日(木)	同 上	在校時、登下校時、在宅時において地震が発生した場合を想定した図上訓練 ※休校のためレポートに変更	職員及び全校生徒
12月4日(水)	袋商ショッパ開催時に地震が発生し、緊急に避難を要する事態が発生	- 袋商ショッパ開催時の地震発生を想定した避難訓練 - ショッパの店舗会場からの避難経路確認、来客誘導	職員及び全校生徒

7 学校開放について

施設開放委員会を中心として、地域に密着した施設の開放に努めている。

(1) 開放施設の範囲

開 放 施 設	利 用 で き る 種 目
運 動 場	ソフトボール、野球、その他施設開放委員会が適当と認めるもの。
テニスコート	テニス、その他施設開放委員会が適当と認めるもの。
体 育 館	バレーボール、バスケットボール、ハンドボール、バドミントン、インディアカ、その他施設開放委員会が適当と認めるもの。
武 道 場	柔道、剣道、その他施設開放委員会が適当と認めるもの。
卓 球 場	卓球、その他施設開放委員会が適当と認めるもの。
教 室	施設開放委員会が適当と認めるもの。
生 活 館 (仰 高 寮)	県教育委員会が主催、委託又は補助する事業並びにこれらに準ずる事業、その他施設開放委員会が適当と認めるもの。

(2) 利用実績

(令和6年度)
(令和7年2月28日現在)

施設名	利用日数	利用人員	利用種目等	利用者負担金 (電気料金)
運動場	42 日	403 人	サッカーの練習	60,115 円
卓球場	43 日	328 人	卓球練習	3,210 円

事務執行の根拠法令調

項 目	根 拠 法 令
1 学校教育に関する こと	教育基本法（第 1、2 条） 学校教育法（第 1、2、3、50、51、52、56、59、60 条） 学校教育法施行規則 学校保健安全法（第 5、6、13、14 条） 静岡県立学校設置条例 静岡県立高等学校学則 高等学校学習指導要領 理科教育振興法（第 11 条） 理科教育振興法施行令 産業教育振興法（第 18 条） 産業教育振興法施行令
2 学校の管理・運営 に関すること	学校教育法（第 137 条） 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（第 33 条） 教育公務員特例法（第 17、21、22、23、24 条） 学校保健安全法（第 6、7、13、15、19、23、27 条） 学校保健安全法施行令 学校図書館法（第 3、4 条） 静岡県手数料徴収条例 静岡県手数料徴収条例施行規則 静岡県立学校の授業料等の徴収に関する条例 静岡県立学校授業料等徴収規則 静岡県立学校管理規則 静岡県教育委員会処務規程 静岡県教育委員会職員安全衛生管理規程 静岡県立学校の施設等の開放に関する要綱 高等学校等就学支援金の支給に関する法律 高等学校等就学支援金の支給に関する法律施行令 高等学校等就学支援金の支給に関する法律施行規則 静岡県高等学校等奨学給付金事務処理要綱 静岡県高等学校等教育資金及び高等学校等奨学金貸与規則 静岡県高等学校等教育資金及び高等学校等奨学金貸与実施要綱 静岡県情報公開条例施行規則 独立行政法人日本スポーツ振興センター法（第 16、17 条） 社会教育法（第 43、45、47 条）

□□□□□ □

学 校 施 設 の 概 要

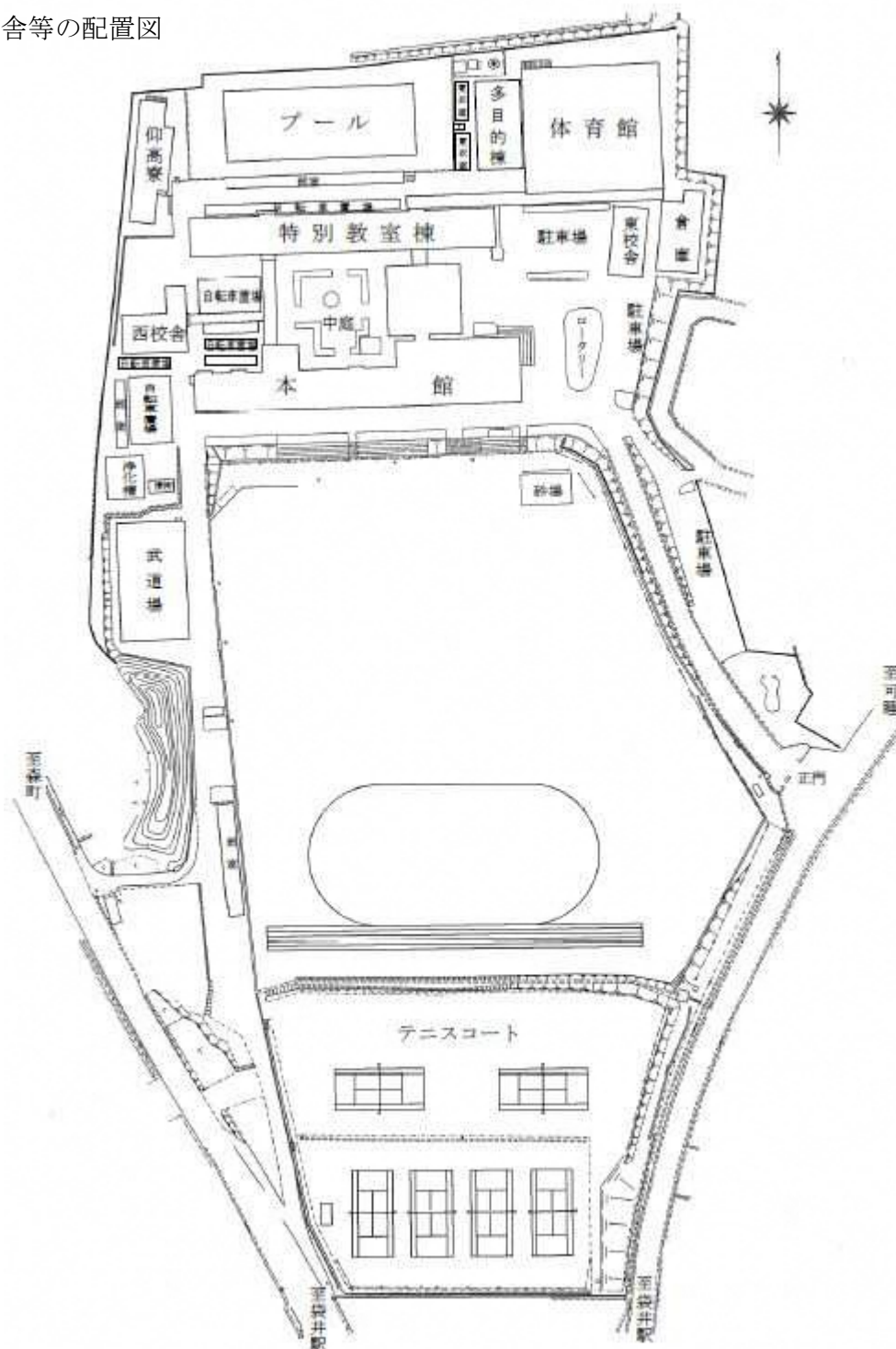
1 面積及び所有区分

(令和7年2月28日現在)

区 分		面 積 m ²	所 有 内 訳					摘 要
			県 有 m ²	国 有 m ²	市町村有 m ²	後援会有 m ²	民 有 m ²	
学 校 敷 地		48,383.93	48,383.93					
内 訳	校 舎 敷 地	22,952.92	22,952.92					
	運 動 場 敷 地	25,431.01	25,431.01					
	その他の敷地							
校 舎	建	2,331.46	2,331.46					
	延	7,514.07	7,514.07					
体 育 館	建	1,355.08	1,355.08					
	延	1,554.19	1,554.19					
武 道 場	建	567.00	567.00					
	延	567.00	567.00					
その他の建物	建	1,880.01	1,880.01					
	延	2,066.92	2,066.92					
生 活 館	建	275.49	275.49					
	延	439.74	439.74					
プ ー ル		1 個	1 個					50m×18m 8コース
職 員 住 宅		12 戸	12 戸					

2 配置・規模等

(1) 校舎等の配置図



(2) 学校施設の規模等（法面・演習林等を除く）

区 分	学校敷地面積	校舎延面積	運動場面積
当 校	48,383.93 m ²	7,514.07 m ²	25,431.01 m ²
県 平 均	45,574.48 m ²	9,807.98 m ²	22,506.84 m ²

□□□□□ □

在 籍 生 徒 調

(令和7年2月28日現在)

学年	学科別 区 分		全 日 制 商 業 科			
			定員	男子	女子	計
1年	入 学 者		120	56	70	126
		増 加				
		減 少		4	2	6
	現 在			52	68	120
2年	入 学 者		160	70	64	134
		増 加				
		減 少		1	1	2
	2年時当初			69	63	132
		増 加				
		減 少			1	1
	現 在			69	62	131
3年	入 学 者		160	72	84	156
		増 加				
		減 少		4	7	11
	2年時当初			68	77	145
		増 加				
		減 少		5	4	9
	3年時当初			63	73	136
		増 加				
		減 少		2		2
	現 在				61	73
合 計			440	182	203	385

□□□□□ □

入学志願者及び入学者数調

区 分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
学 科 別		全 日 制	全 日 制	全 日 制	全 日 制	全 日 制
		商 業 科	商 業 科	商 業 科	商 業 科	商 業 科
生徒定員 (A)		160	160	160	120	120
募集者数 (B)		160	160	160	120	120
志願者数	男	58 (1)	74	69 (1)	57	78
	女	62 (2)	84	64 (1)	72	51
	計 (C)	120 (3)	158	133 (2)	129	129
受検者数	男	58 (1)	73	69 (1)	57	78
	女	62 (2)	84	64 (1)	72	51
	計 (D)	120 (3)	157	133 (2)	129	129
合格者数	男	58	73	69 (1)	56	75
	女	62 (2)	84	64	70	51
	計 (E)	120 (2)	157	133 (1)	126	126
志願倍率(C)／(B)		0.75	0.99	0.83	1.08	1.08
受検倍率(D)／(B)		0.75	0.98	0.83	1.08	1.08
入学者数	男	58	72	70	56	75
	女	64	84	64	70	51
	計 (F)	122	156	134	126	126
充足率(F)／(A)		0.76	0.98	0.84	1.05	1.05

□□□□□ □

卒業生の動向調

1 進路状況

学 科 別			全日制商業科		
年 度			令和4年度	令和5年度	令和6年度
卒 業 生 徒 数			147	118	134
内 訳	(進学志願者)		(74)	(65)	(61)
	進 学 者	大学・短大	33	21	29
		専修・各種学校等	41	44	32
		小 計	74	65	61
	就 職 者		73	52	71
	自 営 者				
	進 学 準 備 者				
	そ の 他			1	2
合 計			147	118	134

2 求人状況

区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
就 職 希 望 者 数	73	52	71
求 人 数	356	399	482
求 人 倍 率	4.88	7.67	6.79

3 資格取得状況

(令和6年度)

学 科 別			全 日 制
			商 業 科
卒 業 生 徒 数			134
簿 記 実 務 検 定	全国商業高等学校長協会	1 級	4
		2 級	79
		3 級	125
簿 記 検 定	日本商工会議所	2 級	5
		3 級	17
珠 算・電卓実務検定	全国商業高等学校長協会	珠 算 1 級	0
		電 卓 1 級	4
		電 卓 2 級	61
情 報 処 理 検 定	全国商業高等学校長協会	ビジネス情報1級	5
		ビジネス情報2級	87
		プログラミング1級	1
		プログラミング2級	16
ビジネス文書検定	全国商業高等学校長協会	1 級	6
		2 級	11
商 業 経 済 検 定	全国商業高等学校長協会	1 級	6
		2 級	88
販 売 士 検 定	日本商工会議所	2 級	0
		3 級	0
漢 字 検 定	日本漢字能力検定協会	2 級	0
		準 2 級	3
		3 級	13
合 計			531

□□□□□ □

生徒の状況

1 生徒の出身地域及び通学方法

(1) 出身地

(令和7年2月28日現在)(単位:人)

市町名	袋井市	掛川市	磐田市	菊川市	森町	その他	合計
生徒数	208	67	68	9	30	3	385
構成比%	54.0	17.4	17.7	2.3	7.8	0.8	100%

(2) 通学方法

(令和7年2月28日現在)(単位:人)

区分	自転車	交通機関	徒歩	その他	合計
生徒数	322	25	15	23	385
構成比%	83.6	6.5	3.9	6.0	100%

2 部(クラブ)の加入状況

(令和7年2月28日現在)(単位:人)

区分		運動部	文化部	未加入者	計
部(クラブ)数		9	8		17
男子	1年	33	18	1	52
	2年	44	22	3	69
	3年	37	16	8	61
	計(A)	114	56	12	182
	構成比	62.6%	30.8%	6.6%	100.0%
女子	1年	26	40	2	68
	2年	21	39	2	62
	3年	24	34	15	73
	計(B)	71	113	19	203
	構成比	35.0%	55.7%	9.3%	100.0%
合計	(A+B)	185	169	31	385
	構成比	48.1%	43.9%	8.0%	100.0%

□□□□□ □

授 業 料 収

期別	月別	調 定 の 状 況							
		1 年		2 年		3 年		計	
		人 員	調 定 額	人 員	調 定 額	人 員	調 定 額	人 員	調 定 額
一 期	4								
	5								
	6								
	7	18	534, 600	19	564, 300	16	475, 200	53	1, 574, 100
	8								
	計	18	534, 600	19	564, 300	16	475, 200	53	1, 574, 100
二 期	7								
	8								
	9								
	10	18	891, 000	16	792, 000	15	742, 500	49	2, 425, 500
	11			▲1	▲9, 900	▲1	0	▲2	▲9, 900
	計	18	891, 000	15	782, 100	14	742, 500	47	2, 415, 600
三 期	12								
	1	18	712, 800	15	594, 000	14	554, 400	47	1, 861, 200
	2								
	3								
	計	18	712, 800	15	594, 000	14	554, 400	47	1, 861, 200
合 計		54	2, 138, 400	49	1, 940, 400	44	1, 772, 100	147	5, 850, 900

納 状 況 調

(令和5年度)

収 納 の 状 況				異 動 者 等 の 状 況	
納 期 内 収 納 額	収 納 率	納 期 後 収 納 額	収 入 未 済 額		
			0	A 期首収納権利発生額	= 1,574,100 円
				1年生 (18 人× 9,900 円× 3 月 =	534,600 円)
				2年生 (19 人× 9,900 円× 3 月 =	564,300 円)
				3年生 (16 人× 9,900 円× 3 月 =	475,200 円)
			0	B 収納権利増減 (▲) 額	= 0 円
				(内訳)	
			0		
1,544,400	98.1		29,700		
		29,700	0		
1,544,400	98.1	29,700	0	C 収納必要額 A－B	= 1,574,100 円
			0	A 期首収納権利発生額	= 2,425,500 円
				1年生 (18 人× 9,900 円× 5 月 =	891,000 円)
				2年生 (16 人× 9,900 円× 5 月 =	792,000 円)
			0	3年生 (15 人× 9,900 円× 5 月 =	742,500 円)
				B 収納権利増減 (▲) 額	▲9,900 円
			0	(内訳)	
				10月31日: 2年生: 転学 ▲1	
				(1 人× 9,900 円× 1 月 =	9,900 円)
2,376,000	98.0		49,500	11月9日: 3年生: 休学 ▲1	
				(1 人× 9,900 円× 0 月 =	円)
▲9,900		49,500	0		
2,366,100	98.0	49,500	0	C 収納必要額 A－B	= 2,415,600 円
			0	A 期首収納権利発生額	= 1,861,200 円
				1年生 (18 人× 9,900 円× 4 月 =	712,800 円)
				2年生 (15 人× 9,900 円× 4 月 =	594,000 円)
1,821,600	97.9		39,600	3年生 (14 人× 9,900 円× 4 月 =	554,400 円)
				B 収納権利増減 (▲) 額	= 0 円
				(内訳)	
		39,600	0		
			0		
1,821,600	97.9	39,600	0	C 収納必要額 A－B	= 1,861,200 円
5,732,100	98.0	118,800	0	D 収 納 必 要 額	= 5,850,900 円

□□□□□ □

授 業 料 収

期別	月別	調 定 の 状 況							
		1 年		2 年		3 年		計	
		人 員	調 定 額	人 員	調 定 額	人 員	調 定 額	人 員	調 定 額
一 期	4								
	5								
	6								
	7	13	386,100	18	534,600	15	445,500	46	1,366,200
	8								
	計	13	386,100	18	534,600	15	445,500	46	1,366,200
二 期	7								
	8								
	9								
	10	12	594,000	14	693,000	16	792,000	42	2,079,000
	11								
	計	12	594,000	14	693,000	16	792,000	42	2,079,000
三 期	12	1	9,900					1	9,900
	1	11	435,600	14	554,400	16	633,600	41	1,623,600
	2								
	3								
	計	12	445,500	14	554,400	16	633,600	42	1,633,500
合 計		37	1,425,600	46	1,782,000	47	1,871,100	130	5,078,700

納 入 状 況 調 査

(令和6年度)

(令和7年2月28日現在)

収 納 の 状 況				異 動 者 等 の 状 況
納 期 内 収 納 額	収 納 率	納 期 後 収 納 額	収 入 未 済 額	
			0	A 期首収納権利発生額 = 1,366,200 円 1年生 (13 人× 9,900 円× 3 月 = 386,100 円) 2年生 (18 人× 9,900 円× 3 月 = 534,600 円) 3年生 (15 人× 9,900 円× 3 月 = 445,500 円)
			0	B 収納権利増減 (▲) 額 = 0 円 (内訳)
			0	
1,277,100	93.5		89,100	
		89,100	0	
1,277,100	93.5	89,100	0	C 収納必要額 A－B = 1,366,200 円
			0	A 期首収納権利発生額 = 2,079,000 円 1年生 (12 人× 9,900 円× 5 月 = 594,000 円) 2年生 (14 人× 9,900 円× 5 月 = 693,000 円) 3年生 (16 人× 9,900 円× 5 月 = 792,000 円)
			0	B 収納権利増減 (▲) 額 = 0 円 (内訳)
			0	
2,029,500	97.6		49,500	
		49,500	0	
2,029,500	97.6	49,500	0	C 収納必要額 A－B = 2,079,000 円
9,900	100.0		0	A 期首収納権利発生額 = 1,663,200 円 1年生 (12 人× 9,900 円× 4 月 = 475,200 円) 2年生 (14 人× 9,900 円× 4 月 = 554,400 円) 3年生 (16 人× 9,900 円× 4 月 = 633,600 円)
1,544,400	95.1		79,200	B 収納権利増減 (▲) 額 = ▲29,700 円 (内訳) 12月27日: 1 年生:退学 ▲1 (1 人× 9,900 円× 3 月 = 29,700 円)
		79,200	0	
			0	
1,554,300	95.2	79,200	0	C 収納必要額 A－B = 1,633,500 円
4,860,900	95.7	217,800	0	D 収 納 必 要 額 = 5,078,700 円

□ □ □ □ □ □

県収入証紙により徴収した使用料及び手数料調

区 分	令和5年度	令和7年2月28日現在
	件 数	件 数
静岡県立高等学校 入学検定料（全日制）	1 3 1	6 4

□□□□□ □

預 金 調

(令和7年2月28日現在)

金融機関名	預金種類	口座番号	口座名義人	残高(円)	摘要
静岡銀行 袋井支店	無利息型 普通預金	0009586	静岡県立袋井商業高等学校 資金前渡者 花崎昌史	5,000	給与・交際費等 振込用
静岡銀行 袋井支店	無利息型 普通預金	0444243	(自振口)静岡県立袋井商業高等学校 資金前渡者 花崎昌史	0	公共料金引落用
静岡銀行 袋井支店	無利息型 普通預金	0907130	静岡県立袋井商業高等学校 奨学給付金 代理受領者 校長 花崎昌史	0	奨学給付金 代理受領用
残 高 合 計				5,000	

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

節 名	会 計	款	項	目	執 行 済 額 (円)		
					令和4年度	令和5年度	うち、4年度からの繰越額分
(12) 委託料	一般会計	教 育 費	教育委員会費	教 育 管 理 費		1,371,700	
	一般会計	教 育 費	高 等 学 校 費	高等学校管理費		2,707,986	
	一般会計	教 育 費	特別支援学校費	特別支援学校管理費		622,402	
計					3,679,627	4,702,088	0
(14) 工 事 費 請 負 費	一般会計	教 育 費	教育委員会費	教 育 管 理 費		6,270,000	
計					418,000	6,270,000	0
(16) 公有財産 購 入 費							
計					0	0	0
(17) 備 品 購 入 費	一般会計	教 育 費	高 等 学 校 費	高等学校管理費		10,076,000	
計					568,700	10,076,000	0
(18) 負担金、 補助金及 び交付金	一般会計	教 育 費	高 等 学 校 費	高等学校管理費		40,943,000	
計					43,641,800	40,943,000	0
(21) 補償、補 填及び賠 償金							
計					0	0	0

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

(令和7年2月28日現在)

節名	会計	款	項	目	執行済額(円)	
						うち、5年度からの繰越額分
(12) 委託料	一般会計	教育費	教育委員会費	教育管理費	51,113	0
	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費	1,470,630	0
	一般会計	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費	402,271	0
計					1,924,014	0
(14) 工事費 請負費	一般会計	教育費	教育委員会費	教育管理費	1,463,000	
計					1,463,000	0
(16) 公有財産 購入費						
計					0	0
(17) 備品 購入費	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費	0	0
計					0	0
(18) 負担金、 補助金及 び交付金	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費	41,283,600	0
						0
計					41,283,600	0
(21) 補償、補 填及び賠 償金						
計					0	0

□□□□ □

委 託 料 に 関 す る 調

(令 和 5 年 度)

整理 番号	委 託 業 務 名	受 託 者	当 初 設 計 金 額	契 約 金 額			契 約 締 結 方 法	契 約 期 間	支 出 年 月 日	金 額	委 託 業 務 の 内 容	摘 要
				当 初 額	変 増 減 額	計						
1	(事 務 関 係) 浄化槽保守点 検業務委託	株式会社 フクエイ	円 2,789,820	円 2,770,680	円 ▲96,250 ▲36,960	円 2,674,430 2,637,470	一 般	5.4.1 ～ 6.3.31	5.10.31 6.4.30 小計	円 1,385,340 1,252,130 2,637,470	袋井商業高校外3 校の浄化槽設備の 保守点検	袋井高 袋井商業高 磐田南高 袋井特別支援
2	可燃物収集運 搬処分業務委 託	有限会社 小久江清掃	運搬料1回 8,103.78円 処分料(円/Kg) 16.3円	運搬料1回 3,850円 処分料(円/Kg) 16.3円		運搬料1回 3,850円 処分料(円/Kg) 16.3円	随 契	5.4.7 ～ 6.3.29	5.5.31 5.6.30 5.7.31 5.8.31 5.9.29 5.10.31 5.11.30 5.12.27 6.1.31 6.2.29 6.3.29 6.4.30 小計	53,926 43,559 52,365 42,517 26,403 58,676 52,743 44,554 56,766 43,674 42,451 68,925 586,559	袋井商業高校外2 校の可燃ごみの収 集運搬及び処分業 務	随契1号 (少額) 袋井高 袋井商業高 袋井特別支援 単価契約
3	容器包装プラ スチック収集 運搬処分業務 委託	株式会社 袋井清掃	運搬料1回 3,837.39円 処分料(円/Kg) 33.0円	運搬料1回 3,300円 処分料(円/Kg) 33.0円		運搬料1回 3,300円 処分料(円/Kg) 33.0円	随 契	5.4.12 ～ 6.3.27	5.5.31 5.6.30 5.7.31 5.10.31 5.11.30 5.12.27 6.1.31 6.2.29 6.3.29 6.4.30 小計	10,065 3,333 3,366 3,333 3,432 3,432 3,696 3,432 3,366 3,432 40,887	容器包装プラ スチックの収集運搬 及び処分業務	随契2号 (不適) 単価契約
4	廃棄パソコン 収集運搬処分 (破碎処理) 業務委託	サンワ環 境整備 株式会社	14,850	14,850		14,850	随 契	5.6.8 ～ 5.8.31	5.7.13	14,850	廃棄パソコンの収 集運搬及び処分 (破碎処理) 業務	随契1号 (少額)
5	西館外壁全面 打診調査業務 委託	株式会社 創亜開発	976,080	968,000		968,000	随 契	5.7.24 ～ 5.12.28	5.12.27	968,000	建築基準法第12条 に基づく外壁打診 調査	随契1号 (少額)
6	武道場外壁全 面打診調査業 務委託	株式会社 エコア総 合設計	403,700	403,700		403,700	随 契	5.8.1 ～ 5.9.30	5.10.25	403,700	建築基準法第12条 に基づく外壁打診 調査	随契1号 (少額)
7	廃蛍光管他収 集運搬及び処 分業務	株式会社 ホクセイ	33,990	33,990		33,990	随 契	5.7.24 ～ 5.11.30	5.11.22	31,922	廃蛍光管他の収集 運搬及び処分業務	随契1号 (少額) 単価契約
8	グリストラッ プ汚泥収集運 搬業務	株式会社 袋井清掃	13,200	13,200		13,200	随 契	6.1.15 ～ 6.3.12	6.3.5	13,200	グリストラップ汚 泥収集運搬業務	随契1号 (少額)
9	グリストラッ プ汚泥処分業 務	株式会社 太洋サー ビス	5,500	5,500		5,500	随 契	6.1.15 ～ 6.3.12	6.3.29	5,500	グリストラップ汚 泥処分業務	随契1号 (少額)
	事務関係計	9 件								4,702,088		
	合 計	9 件								4,702,088		

□□□□□ □

委 託 料 に 関 す る 調

(令 和 5 年 度)

整理 番号	委 託 業 務 名	受 託 者	当 初 設 計 金 額	契 約 金 額			契 約 締 結 方 法	契 約 期 間	支 出 年 月 日	金 額	委 託 業 務 の 内 容	摘 要
				当 初 額	変 増 減 額	計						
参 考 1	自家用電気工 作物保安管理 業務委託	遠鉄アシスト 株式会社		942,480		942,480		5.4.1 ～ 6.3.31			袋井高校外2校 の自家用電気工 作物保安管理業 務	袋井高
参 考 2	消防用設備等 保守点検業務 委託	静岡県消防設 備保守点検業 協同組合		8,850,600		8,850,600		5.4.1 ～ 6.3.31			磐田農業高校外 8校の消防用設 備等保守点検業 務	磐田農業高
参 考 3	プール浄化装 置保守点検業 務委託	有限会社 山静商会		429,000		429,000		5.4.12 ～ 5.11.30			磐田西高校外6 校のプール浄化 装置保守点検業 務	磐田西高
参 考 4	警備業務委託	総合警備保障 株式会社静岡 支社		17,166,600		17,166,600		1.10.1 ～ 6.9.30			磐田南高校外8 校の警備業務	磐田南高
参 考 5	建築基準法第 12条に基づく 定期点検業務 委託	有限会社 コーセイ産業		1,975,600		1,975,600		6.1.11 ～ 6.3.29			磐田袋井地区県 立学校の建築基 準法第12条定期 点検業務	磐田北高
	合 計	5 件										

□□□□ □

委 託 料 に 関 す る 調

(令 和 6 年 度)
(令和 7 年 2 月 28 日現在)

整理 番号	委 託 業 務 名	受 託 者	当 初 設 計 金 額	契 約 金 額			契 約 締 結 方 法	契 約 期 間	支 出 年 月 日	金 額	委 託 業 務 の 内 容	摘 要
				当 初 額	変 増 減 額	計						
1	(事 務 関 係) 浄化槽保守点 検業務委託	株式会社 フクエイ	円 2, 424, 180	円 2, 407, 680	円	円 2, 407, 680	一 般	6. 4. 1 ～ 7. 3. 31	6. 10. 31 小計	円 1, 203, 840 1, 203, 840	袋井商業高校外 3 校の浄化槽設備の 保守点検	袋井高 袋井商業高 磐田南高 袋井特別支援
2	可燃物収集運 搬処分業務委託	有限会社 小久江清掃	運搬料 1 回 4, 400円 処分料 (円/Kg) 16. 3円	運搬料 1 回 4, 400円 処分料 (円/Kg) 16. 3円		運搬料 1 回 4, 400円 処分料 (円/Kg) 16. 3円	随 契	6. 4. 8 ～ 7. 3. 28	6. 5. 31 6. 6. 28 6. 7. 31 6. 8. 30 6. 9. 30 6. 10. 31 6. 11. 29 6. 12. 26 7. 1. 31 7. 2. 28 小計	51, 582 55, 656 54, 678 50, 782 23, 940 49, 348 55, 590 64, 017 61, 198 55, 134 521, 925	袋井商業高校外 2 校の可燃ごみの収 集運搬及び処分業 務	随契 1 号 (少額) 袋井高 袋井商業高 袋井特別支援 単価契約
3	産業廃棄物収 集運搬及び処 分業務委託	サンワ環 境整備 株式会社	91, 300	91, 300		91, 300	随 契	6. 5. 7 ～ 6. 12. 27	6. 12. 10	91, 300	産業廃棄物の収集 運搬及び処分業務	随契 1 号 (少額)
4	廃蛍光管他収 集運搬及び処 分業務	株式会社 ホクセイ	48, 840	48, 840		48, 840	随 契	6. 7. 19 ～ 6. 12. 4	6. 11. 1	31, 416	廃蛍光管他の収集 運搬及び処分業務	随契 1 号 (少額) 単価契約
5	袋井地区教職 員住宅合併浄 化槽維持管理 業務委託	株式会社 北陽	102, 226	102, 226		102, 226	随 契	6. 8. 20 ～ 7. 3. 31	6. 12. 18	51, 113	袋井地区教職員住 宅の浄化槽設備の 保守点検	随契 1 号 (少額)
6	廃棄パソコン 収集運搬及び 処分業務委託	サンワ環 境整備 株式会社	24, 420	24, 420		24, 420	随 契	6. 9. 26 ～ 6. 12. 20	6. 10. 24	24, 420	廃棄パソコンの収 集運搬及び処分業 務	随契 1 号 (少額)
7	産業廃棄物収 集運搬及び処 分業務委託	サンワ環 境整備 株式会社	91, 300	91, 300		91, 300	随 契	6. 11. 1 ～ 7. 3. 31			産業廃棄物の収集 運搬及び処分業務	随契 1 号 (少額)
	事務関係計	7 件								1, 924, 014		
	合 計	7 件								1, 924, 014		

□□□□□ □

委 託 料 に 関 す る 調

(令 和 6 年 度)
(令和 7 年 2 月 28 日現在)

整理 番号	委 託 業 務 名	受 託 者	当 初 設 計 金 額	契 約 金			契 約 締 結 方 法	契 約 期 間	支 出 年 月 日	金 額	委 託 業 務 の 内 容	摘 要
				当 初 額	変 増 減 額	計						
参 考 1	自家用電気工 作物保安管理 業務委託	遠鉄アシスト 株式会社		942,480	68,310	1,010,790		6.4.1 ～ 7.3.31			袋井高校外 2 校の 自家用電気工作物 保安管理業務	袋井高
参 考 2	消防用設備等 保守点検業務 委託	静岡県消防設 備保守点検業 協同組合		9,251,000		9,251,000		6.4.1 ～ 7.3.31			磐田農業高校外 8 校の消防用設備等 保守点検業務	磐田農業高
参 考 3	プール浄化装 置保守点検業 務委託	有限会社 山静岡会		429,000		429,000		6.4.12 ～ 6.11.29			磐田西高校外 6 校 のプール浄化装置 保守点検業務	磐田西高
参 考 4	警備業務委託	総合警備保障 株式会社静岡 支社		13,602,600		13,602,600		6.10.1 ～ 11.9.30			磐田南高校外 8 校 の警備業務	磐田南高
参 考 5	建築基準法第 12条に基づく 定期点検業務 委託	有限会社 コーセイ産業		3,063,390		3,063,390		6.11.1 ～ 7.2.28			磐田袋井地区県立 学校の建築基準法 第12条定期点検業 務	磐田農業高
	合 計	5 件										

□□□□□ □

負 担 金 支 出 調

(令和5年度)

整理 番号	負担金名	交 付 先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	会議参加費	全国商業高等学校 校長協会	開催通知	全国商業高等学校 長協会春季総会研 究協議会	円 2,500	5.4.21
2	会議参加費	全国高等学校長 協会	開催通知	全国高等学校長協 会第75回総会研究 協議会	2,000	5.5.1
3	会議参加費	東海四県高等学 校長連絡協議会	開催通知	東海四県高等学 校長連絡協議会総 会研究協議会	2,000	5.7.21
4	高等学校等 就学支援金	全日制高等学校 授業料 (第1期分345名分)	高等学校等 就学支援金 の支給に関 する法律	高等学校に在籍す る生徒の授業料に 充てる	10,246,500	振替日 5.7.31
5	高等学校等 就学支援金	全日制高等学校 授業料 (第2期分349名分)	高等学校等 就学支援金 の支給に関 する法律	高等学校に在籍す る生徒の授業料に 充てる	17,216,100	振替日 5.10.31
6	高等学校等 就学支援金	全日制高等学校 授業料 (第2期分2名分)	高等学校等 就学支援金 の支給に関 する法律	転学生徒の授業料 戻入	△ 19,800	振替日 5.11.15
7	高等学校等 就学支援金	全日制高等学校 授業料 (第3期分342名分)	高等学校等 就学支援金 の支給に関 する法律	高等学校に在籍す る生徒の授業料に 充てる	13,513,500	振替日 5.1.31
8	高等学校等 就学支援金	全日制高等学校 授業料 (第3期分1名分)	高等学校等 就学支援金 の支給に関 する法律	転学生徒の授業料 戻入	△ 19,800	振替日 6.2.14
計		8件			40,943,000	

□□□□□ □

負担金支出調

(令和6年度)

(令和7年2月28日現在)

整理 番号	負担金名	交 付 先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	会議参加費	全国商業高等学校 長協会	開催通知	全国商業高等学校長 協会春季総会研究協 議会	円 5,500	6.4.22
2	会議参加費	全国高等学校長協 会	開催通知	全国高等学校長協会 第76回総会研究協 議会	4,000	6.4.30
3	講習会等 参加負担金	日本産業廃棄物処 理振興センター	開催通知	特別管理産業廃棄物 管理責任者講習会	13,200	6.5.24
4	高等学校等 就学支援金	全日制高等学校 授業料 (第1期分1名分)	高等学校等 就学支援金 の支給に関 する法律	高等学校に在籍する 生徒の授業料に充て る	19,800	振替日 6.5.31
5	会議参加費	東海四県高等学校 長連絡協議会	開催通知	東海四県高等学校長 連絡協議会総会研究 協議会	2,000	6.7.16
6	会議参加費	東海四県高等学校 長生徒指導連絡協 議会	開催通知	東海四県高等学校長 生徒指導連絡協議会	2,000	6.7.19
7	高等学校等 就学支援金	全日制高等学校 授業料 (第1期分347名分)	高等学校等 就学支援金 の支給に関 する法律	高等学校に在籍する 生徒の授業料に充て る	10,305,900	振替日 6.7.31
8	会議参加費	全国商業高等学校 長協会	開催通知	全国商業高等学校長 協会秋季総会研究協 議会	5,500	6.8.30
9	講習会等 参加負担金	日本防火・防災協 会	防火・防災 管理講習ホ ームページ	防火管理者講習	8,000	6.10.10
10	高等学校等 就学支援金	全日制高等学校 授業料 (第2期分351名分)	高等学校等 就学支援金 の支給に関 する法律	高等学校に在籍する 生徒の授業料に充て る	17,265,600	振替日 6.10.31
11	高等学校等 就学支援金	全日制高等学校 授業料 (第2期分1名分)	高等学校等 就学支援金 の支給に関 する法律	退学生徒の授業料戻 入	△ 9,900	振替日 6.11.5
12	高等学校等 就学支援金	全日制高等学校 授業料 (第3期分345名分)	高等学校等 就学支援金 の支給に関 する法律	高等学校に在籍する 生徒の授業料に充て る	13,662,000	振替日 7.1.31
計		12件			41,283,600	

□□□□□ □

建 築 工

整理 番号	予算科目	工事名	工事箇所	当 初 設計金額	契 約 金	
					当初額	変更増減額
1	教育管理費	令和5年度静岡県立袋井商業高等学校テニスコートフェンス改修工事	袋井市久能地内	円 4,829,000	円 4,565,000	円 0
2	教育管理費	令和5年度静岡県立袋井商業高等学校本館職員室空調更新工事	袋井市久能地内	円 1,705,000	円 1,705,000	円 0
		合 計	2 件	6,534,000	6,270,000	0

事 調

(令和5年度)

額	契約 締結 方法	受 注 者	着 手	支出済額	工事概要	公有 財産 台帳	摘 要
計			完成(予定) 年 月 日				
円 4,565,000	指名	丸明建設 株式会社	着手 R5. 8. 16 完成 R5. 11. 16	円 4,565,000	既設テニスコート フェンス撤去L=75.7m 新設テニスコート フェンス建築L=76.0m	済	令達年月日 R5. 7. 25 支払年月日 R5. 12. 27
円 1,705,000	随契	株式会社 三永	着手 R5. 12. 8 完成 R6. 2. 16	円 1,705,000	パッケージエアコン (天井吊型) 1台撤去 パッケージエアコン (天井吊型) 1台更新	済	令達年月日 R5. 12. 5 支払年月日 R6. 3. 29 随契1号 (少額)
6,270,000				6,270,000			

□□□□□ □

建 築 工

整理 番号	予算科目	工事名	工事箇所	当 初 設計金額	契 約 金	
					当初額	変更増減額
1	教育管理費	令和6年度静岡県立袋井商業高等学校浄化槽流量調整槽汚水ポンプ更新工事	袋井市久能地内	円 1,463,000	円 1,463,000	円 0
2	教育管理費	令和6年度静岡県立袋井商業高等学校職員室・事務室非常放送設備更新工事	袋井市久能地内	円 3,300,000	円 3,245,000	円 0
		合 計	2 件	4,763,000	4,708,000	0

事 調

(令和6年度)
(令和7年2月28日現在)

額	契約 締結 方法	受 注 者	着 手	支出済額	工事概要	公有 財産 台帳	摘 要
計			完成(予定) 年 月 日				
円 1,463,000	随契	株式会社 三永	着手 R6.10.28 完成 R6.12.25	円 1,463,000	水中ポンプ(着脱式) 付属ケーブル 50φ×0.4kw×三相200V 2台撤去・更新	—	令達年月日 R6.10.21 支払年月日 R7.2.3 随契1号 (少額)
円 3,245,000	指名	西遠消防機具 株式会社	着手 R6.7.31 完成 R7.2.28	円	非常放送設備壁掛型270W 10回線電力増幅ユニット 非常放送用蓄電池内蔵 リモコン壁掛型 撤去・更新		令達年月日 R6.6.27 支払年月日
4,708,000				1,463,000			

公 有 財 産 調

(令 和 5年 度)

区 分	令和5年3月31日現在		増		減		令和6年3月31日現在		摘 要
	数 量 又 は 面 積	台帳価格	数量又 は面積	台帳価格	数量又 は面積	台帳価格	数 量 又 は 面 積	台帳価格	
行 政 財 産		千円 1,954,919		千円 4,874		千円 24,223		千円 1,935,570	
土 地	m ² 48,383.93	1,771,820					m ² 48,383.93	1,771,820	
立 木 竹	本 174	4,378					本 174	4,378	
建 物	m ² 6,409.04 —— 12,141.92	141,945	——		——	20,250	m ² 6,409.04 —— 12,141.92	121,695	
工 作 物	個 98	36,776	2	4,874	1	3,973	個 99	37,677	
普 通 財 産		124,333				5,215		119,118	
土 地	m ² 1,159.38	41,900					m ² 1,159.38	41,900	
建 物	m ² 386.79 —— 926.07	82,433				5,215	m ² 386.79 —— 926.07	77,218	
工 作 物	個 6	0					個 6	0	
公有財産に準ずるもの		177						177	
電 話 加 入 権	件 6	177					件 6	177	

□□□□□ □

公 有 財 産 調

(令 和 6 年 度)
(令 和 7 年 2 月 28 日 現 在)

区 分	令和6年3月31日現在		増		減		令和7年2月28日現在		摘 要
	数 量 又 は 面 積	台帳価格	数量又 は面積	台帳価格	数量又 は面積	台帳価格	数 量 又 は 面 積	台帳価格	
行 政 財 産		千円 1,935,570		千円		千円		千円 1,935,570	
土 地	m ² 48,383.93	1,771,820					m ² 48,383.93	1,771,820	
立 木 竹	本 174	4,378					本 174	4,378	
建 物	m ² 6,409.04 —— 12,141.92	121,695	——		——		m ² 6,409.04 —— 12,141.92	121,695	
工 作 物	個 99	37,677					個 99	37,677	
普 通 財 産		119,118						119,118	
土 地	m ² 1,159.38	41,900					m ² 1,159.38	41,900	
建 物	m ² 386.79 —— 926.07	77,218					m ² 386.79 —— 926.07	77,218	
工 作 物	個 6	0					個 6	0	
公有財産に準ずるもの		177						177	
電 話 加 入 権	件 6	177					件 6	177	

□□□□□ □

借地借家等調

(令和7年2月28日現在)

整理 番号	区分	種別	所在地	地 目		数量又 は面積	借 料		契約期間	所有者又は 契約者氏名	用 途
				台帳	現況		単 価	年 額			
1	工作物	冷暖房 装置	袋井市 久能 2350			1 個		円 4,740,861	R3.7.1) R16.6.30	三井住友ファイナ ンス&リース株式 会社	普通教室空調
1	工作物	冷暖房 装置	袋井市 久能 2350			1 個		円 3,116,919	R6.7.1) R19.6.30	NTT・TCリース株 式会社静岡支店	特別教室空調
	計							7,857,780			

□□□□□ □

事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調

(令和6年度)

(令和7年2月28日現在)

区分	事業名又は 契約名	内 容	契約額	(契 約 額 の 年 度 別 内 訳)				
				2 年 度	3 年 度	4 年 度	5 年 度	6 年 度
				円	円	円	円	円
長期 継続 契約	電子複写 機賃貸借 契約	電子複写機2台 の賃貸借契約 (契約日) 令和2年4月1日	2,850,540	570,108	570,108	570,108	570,108	570,108

行政財産貸付・使用許可調

(令和7年2月28日現在)

整理 番号	区分	種別	所在地	地 目		数量又 は面積	貸付料又は使用料		貸付又は使 用許可期間	貸付又は使用許可 を受けた者の氏名	貸付・使用 許可目的
				台帳	現況		単 価	年 額			
1	土地	学校敷地	袋井市久能2350	学校敷地	学校敷地	電柱5本 支柱1本 支線柱1本 支線6条	1,500	19,500	2.4.1) 7.3.31	中部電力パワーグリッド株式会社掛川支社配電建設グループ長	電力供給用
2	〃	〃	〃	〃	〃	電柱2本 支柱1本 支線11条	1,500	21,000	3.4.1) 8.3.31	西日本電信電話株式会社静岡支店長	電気通信線路設備維持
3	〃	〃	〃	〃	〃	m ² 0.95	—	免 除	2.4.1) 7.3.31	袋井市長	道路照明灯2基設置
4	〃	〃	〃	〃	〃	m ² 0.46	—	免 除	3.4.1) 8.3.31	袋井市長	避難所標識看板設置
5	〃	〃	〃	〃	〃	m ² 0.85	—	免 除	3.4.1) 8.3.31	袋井市長	道路反射鏡1基設置
6	〃	〃	〃	〃	〃	m ² 1.0	—	免 除	4.4.1) 7.3.31	静岡県くらし・環境部環境局長	地盤沈下調査用埋設標石設置
7	〃	〃	〃	〃	〃	m ² 8.4	—	免 除	2.4.1) 7.3.31	袋井商業高校同窓会長	部活動等広報用差替式看板設置
8	〃	〃	〃	〃	〃	m ² 16.8	—	免 除	5.4.1) 10.3.31	袋井商業高校後援会長	グラウンド部活動観覧席設置
9	建物	事務所建	〃	RC造	購買室	m ² 5.0	—	免 除	6.4.1) 9.3.31	袋井商業高校後援会長	パンの販売
10	〃	〃	〃	〃	事務室内	m ² 0.07	—	免 除	4.4.1) 9.3.31	袋井市長	地域防災無線移動局1基設置
11	〃	〃	〃	〃	昇降口	0.84m ²	—	830	6.10.1) 7.3.31	松本印刷株式会社	デジタルサイネージ設置
12	建物 土地	事務所建 学校敷地	〃	RC造 学校敷地	昇降口 学校敷地	1 m ² 1 m ² 2 m ²	—	1,005,000	6.4.1) 9.3.31	コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社 ペンディング中部日本地区統括部 ペンディング浜松支店	自動販売機及び容器回収ボックス設置
13	〃	〃	〃	〃	事務室内 学校敷地	3.3m ² 10.4m ²	—	免 除	6.4.1) 9.3.31	袋井商業高校PTA会長	職員の執務場所及び駐車場
合 計								1,046,330			

□□□□□ □

職 員 公 舍 管 理 状 況 調

(令和 7 年 2 月 28 日現在)

整理 番号	所在地	建築 年月	構 造	管理戸 (室)数 (A)	入居戸 (室)数 (B)	Bの内他 事務所職 員入居戸 (室)数	空屋戸 (室)数 (A-B)	摘 要
1	袋井市 上山梨 1579-3	H 4 . 5	R C 3 F 1 棟	12 戸	2 戸	1 戸	10 戸	袋井商業高 1 戸 浜松みをつくし特別 1 戸 支援学校 平成22年 4 月 1 日 1 戸 平成23年12月 8 日 1 戸 平成25年 3 月26日 1 戸 平成26年 4 月 1 日 1 戸 平成28年 8 月 6 日 1 戸 平成30年10月 1 日 1 戸 令和 3 年 3 月19日 1 戸 令和 5 年 2 月14日 1 戸 令和 6 年 4 月22日 1 戸 令和 6 年 7 月30日 1 戸
計				12	2	1	10	

主 要 備 品 調

(令和7年2月28日現在)

整理 番号	区 分		品 名 ・ 規 格	利 用 状 況	購入年月	購入金額
	大・中	小				
1	2-1	パーソナルコン ピュータ (一式)	プレゼンテーション実習実習装置 HP Z2 Mini G5 Workstation 41台ほか	情報処理ほか 授業用週15時間	令和4年2月	円 19,668,000
2	2-1	パーソナルコン ピュータ (一式)	情報応用実習装置 HP EliteDesk800G2 41台ほか	情報処理ほか 授業用週15時間	平成28年12月	9,930,600
3	2-1	パーソナルコン ピュータ (一式)	情報基礎実習装置 HP ProMini400G9/CT 43台ほか	情報処理ほか 授業用週20時間	令和6年2月	9,900,000
4	10-2	発音用器具	語学演習機(LL装置) ソニーLLC-8000Aほか 44台	リーディング 授業用週17時間	平成12年3月	5,439,000
5	2-1	パーソナルコン ピュータ (一式)	総合実践室パソコン NEC MK37L/B-R 43台ほか	総合実践授業用 週15時間	平成29年3月	5,407,776
6	2-1	パーソナルコン ピュータ (一式)	パソコン教室用パソコン 富士通 FMV-D5290 42台ほか	情報処理ほか 授業用週17時間	平成22年3月	4,370,154
7	1-14	エアコンディショ ナー	天吊形 三菱 PCHX-J224GAF 3セット	実践・情報処理 授業時に使用	平成9年3月	3,605,000
8	2-1	パーソナルコン ピュータ (一式)	パソコン教室用ネットワーク機器 HP ML310e Gen8他	情報処理ほか 授業用週20時間	平成26年2月	2,033,115
9	10-9	演劇用器具	演劇用器具 一文字幕W11000×H1000	式典等で使用	令和5年11月	1,459,700
10	3-4	その他の媒体関連機 器	スクリーン W4,428×H2,768	式典等で使用	令和5年8月	1,426,700
11	1-14	エアコンディショ ナー	天吊形 三菱 PCHX-J224KAF	言語学習・文書作成ほか 授業時に使用	平成10年3月	1,260,000
12	2-1	パーソナルコン ピュータ周辺機器	情報基礎実習装置(周辺機器) XEROX DocuPrintC3350ほか	情報処理ほか 授業用週20時間	平成26年3月	1,245,300
13	1-4	移動書庫	オカムラN935BS	文書保管用 常時使用	平成4年2月	1,236,000
14	2-2	放送装置	放送室音声調整卓 (一式)	校内放送用 常時使用	令和3年2月	1,075,800
15	10-7	鍵盤楽器	ピアノ カワイ GS-50	音楽授業時に使用 週10時間	昭和60年3月	940,000
16	10-7	鍵盤楽器	ピアノ カワイ KG-5C	式典等で使用	昭和52年8月	720,000
17	10-6	教育調理器具	調理台(教師用)電子コンベック	家庭科授業時に使用 週10時間	平成9年8月	715,050
18	1-99	その他の庁用器具	救助袋 垂直式 3階用	火災等の避難時に使 用	平成7年2月	632,420
19	2-1	パーソナルコン ピュータ (一式)	情報応用実習装置(音響装置) アンプ・ミキサー・スピーカー	総合実践 授業用週15時間	平成21年3月	619,500
20	10-6	教育調理器具	調理台(生徒用)コンベック付	家庭科授業時に使用 週10時間	平成9年8月	590,100

職 員 調

(令和7年4月1日現在)

整理 番号	職 名	氏 名	事務分担	住 所	勤務年数 年 月	摘 要
1	校 長	花崎 昌史		□□□	□ 年□月	□□□
2	副校長	竹井 嘉樹		□□□	□ 年□月	□□□
3	教 頭	林 繁久	商 業	□□□	□ 年□月	□□□
4	事務長	北原 裕子	事 務	□□□	□ 年□月	□□□
5	教 諭	山田 直文	保健体育	□□□	□ 年□月	□□□
6	教 諭	杉本みどり	保健体育	□□□	□ 年□月	□□□
7	教 諭	山本 佳代	国 語	□□□	□ 年□月	□□□
8	教 諭	中村 政司	商 業	□□□	□ 年□月	□□□
9	教 諭	大庭 恭幸	商 業	□□□	□ 年□月	□□□
10	教 諭	笠井 貴史	保健体育	□□□	□ 年□月	□□□
11	教 諭	鈴木 雅子	国 語	□□□	□ 年□月	□□□
12	教 諭	石川 千尋	理 科	□□□	□ 年□月	□□□
13	教 諭	富永 昌彦	商 業	□□□	□ 年□月	□□□
14	教 諭	萩原まこと	家 庭	□□□	□ 年□月	□□□
15	教 諭	鈴木 涼子	国 語	□□□	□ 年□月	□□□
16	教 諭	松本 浩司	数 学	□□□	□ 年□月	□□□
17	教 諭	花木志麻子	外国語	□□□	□ 年□月	□□□
18	教 諭	上田 淑江	保健体育	□□□	□ 年□月	□□□
19	教 諭	石川 淳也	保健体育	□□□	□ 年□月	□□□
20	教 諭	柴田 一成	商 業	□□□	□ 年□月	□□□
21	教 諭	小林志緒里	外国語	□□□	□ 年□月	□□□
22	教 諭	八木田知弘	商 業	□□□	□ 年□月	□□□
23	教 諭	山本悠次郎	理 科	□□□	□ 年□月	□□□
24	教 諭	原 慎之介	商 業	□□□	□ 年□月	□□□
25	教 諭	山本 勇伊	外国語	□□□	□ 年□月	□□□
26	教 諭	疋田 将隆	商 業	□□□	□ 年□月	□□□
27	教 諭	小湊 勇魚	外国語	□□□	□ 年□月	□□□
28	教 諭	大村 凌生	地歴公民	□□□	□ 年□月	□□□

整理 番号	職 名	氏 名	事務分担	□□□	□ 年□月	□□□
29	教 諭	山田 彪博	商 業	□□□	□ 年□月	□□□
30	教 諭	塚本 航平	数 学	□□□	□ 年□月	□□□
31	教 諭	富田 若菜	商 業	□□□	□ 年□月	□□□
32	教 諭	谷口 翔太	商 業	□□□	□ 年□月	□□□
33	養護教諭	乾 紫恵里	養 護	□□□	□ 年□月	□□□
34	主任実習助手	豊島 万貴	商 業	□□□	□ 年□月	□□□
35	主 査	浮辺 清乃	会 計	□□□	□ 年□月	□□□
36	主 査	渥美 了一	管 財	□□□	□ 年□月	□□□
平均年数				3 年6月		

整理 番号	職 名	氏 名	事務分担	住 所	勤務年数 年 月	摘 要
1	非常勤講師	江川 琴乃	音 楽	□□□	□ 年□月	□□□
2	非常勤講師	原田 勉	書 道	□□□	□ 年□月	□□□
3	非常勤講師	磯部 豊彦	地歴公民	□□□	□ 年□月	□□□
4	非常勤講師	岩科 和美	国 語	□□□	□ 年□月	□□□
5	非常勤講師	加藤 好孝	商 業	□□□	□ 年□月	□□□
6	非常勤講師	竹内 明美	通 級	□□□	□ 年□月	□□□
7	非常勤労務職員	葛西 美三	用 務	□□□	□ 年□月	□□□
8	非常勤労務職員	堀内 則男	用 務	□□□	□ 年□月	□□□
9	外国語指導講師	ケルシー ウィルソン	英 語	□□□	□ 年□月	□□□
10	学校医	小野 七生	内 科	□□□	□ 年□月	□□□
11	学校医	栗田 邦雄	眼 科	□□□	□ 年□月	□□□
12	学校医	清水 敏也	耳鼻科	□□□	□ 年□月	□□□
13	学校歯科医	田代 悦章	歯 科	□□□	□ 年□月	□□□
14	学校薬剤師	小嶋 剛	薬剤師	□□□	□ 年□月	□□□
15	健康管理医	小野 七生		□□□	□ 年□月	□□□

□□□□□ □

職 員 の 年 齢 調

(令和7年4月1日現在)

年 齢	人 員	摘 要
20歳未満	0 人	
20歳以上30歳未満	6 人	
30歳以上40歳未満	7 人	
40歳以上50歳未満	6 人	
50歳以上56歳未満	10 人	
56歳以上61歳未満	4 人	
61歳以上	3 人	再任用3人
計	36 人	平均年齢 47歳1月

□□□□□ □

健 康 管 理

1 令和6年度受診状況

区 分	内 容
受 診 状 況	受診者数 37 人
	職 員 数 37 人
受 診 率	100.0 %
県平均受診率	100.0 %

(1) 未受診の理由

—

2 令和7年度在籍者の健康管理区分結果

健 康 管 理 区 分			人 数
A	休養のため必要な期間、勤務を休止させる。		人
B 1	勤務時間を短縮し、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張をさける。また、必要に応じ勤務場所、勤務内容の変更を行う。	要 治 療	人
B 2		要経過観察	人
C 1	勤務をほぼ平常に行ってよいが症状によっては、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張等勤務に制限を加える必要がある。	要 治 療	1 （1）人
C 2		要経過観察	人
D 1	平常の勤務でよい。	要 治 療	8 （8）人
D 2		要経過観察	11 （11）人
D 3		医療不要	12 （12）人
区分者計			32 （32）人
未区分者計			4 （4）人
合 計			36 （36）人

(1) 管理区分A～C 2 該当者に対する措置状況

(2) 未区分の理由

ア 産休・育休 □人
 イ 新規採用 □人
 ウ 自己都合による未受診 □人
 エ その他 □人
 (□)